

➤ 挨拶

・文部科学省 高等教育局 局長 伯井 美徳 氏

文部科学省高等教育局長の伯井でございます。ご参加の皆様方におかれましては、日頃より、それぞれのお立場で学生のキャリア教育、就職支援にご理解とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

初めに、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、学生の皆さんが置かれている環境にも大きな変化が生じているところです。こういった状況であるからこそ、大学における支援は一層重要になっていると考えております。必ずしも決まった答えがあるわけではなく多様な社会において、自ら答えを見つけ、変化の激しい時代にあっても、社会をリードし、たくましく生き抜く人材の育成というのが不可欠であります。そのためには、社会全体で、様々な協力をしていくことが求められております。

本ガイダンスのテーマである「就職採用活動」について言えば、学生の学業を妨げないことが重要であり、学生が学業に専念できる環境づくりを社会全体で行うことを前提として、これまで、大学側と企業側でお互いを尊重し合いながら進められてきたところであります。

また、昨年1月からは、経団連と大学側が中長期的な就職採用活動や人材育成等について意見交換を行う『採用と大学教育の未来に関する産学協議会』を設置し、就職採用活動の今後のあり方を含む、将来への人材育成における課題等に関して活発な議論が行われております。文部科学省としても、関係部署とともに企業等に対する就職採用活動日程の順守や、学生の学業に配慮した採用活動を行っていただくよう、経済団体等を通じて要請をしていますが、大学等と企業が足並みをそろえた取組が不可欠であります。

特に今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、新卒採用を中断する企業が発生するなど、学生の就職活動に大きな影響が生じております。このため、就職採用活動に関係する四大臣から、経済四団体に対して、新卒者等の採用維持、促進に向けた特段の配慮について、要請を行いました。加えて、萩生田文部科学大臣と大学団体を代表する学長との間で意見交換を行い、就職活動を含め、学生へのきめ細かな対応を要請したところであります。

大学等、企業関係者の皆様には、改めてこうした趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いしたいと思います。本年度は、対面での開催とはなりませんでしたが、こういったガイダンスを通して情報共有を図ることは、大変重要なことと考えております。

本日のガイダンスが、皆様にとって有意義なものとなりますことを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。どうぞ、よろしく申し上げます。

(了)